

第2回 豊橋市高齢者福祉計画検討委員会 議事録

日 時	令和8年10月7日(水) 午後1時45分 ～ 午後2時45分
場 所	豊橋市役所 東館301会議室
出席者	【委員】 7名【事務局(長寿介護課)】 7名
次 第	1 第10期豊橋市高齢者福祉計画 素案

議事の概要

発言者	発言内容(要旨)
議事1 第10期豊橋市高齢者福祉計画 素案	
事務局	・ <説明> 第1回検討委員会で協議した内容から修正のあった箇所及び今後の予定について説明。
事務局	・ <説明> 実施計画について、基本施策ごとの指標(令和7年度基準値・令和11年度目標値)、取り組み、担当課及び各基本施策の方向性を説明。また、実施計画のうち東三河広域連合が担当する事業は、第10期介護保険事業計画を策定中のため掲載事業を協議中であることを説明。
委員	・ 要介護認定の申請から認定までの期間は本来30日程度とされているが、それ以上かかることもある。申請時には早期のサービス利用を望んでいるが、認定までの期間が長いと本人の気持ちが変わってしまうこともある。人材確保などを進め、期間を短くするよう努めていただきたい。
事務局	・ 認定は、認定調査と主治医意見書の両方が揃って初めて審査が可能となるが、法定の30日を超えることもある。現状は 40 日台で推移しており、一時期よりは改善しているが、今後、申請者の増加が見込まれるため、認定調査をできるだけ早く実施できるよう努めていく。
委員	・ この10年間で老人クラブは100程度減少していると思われるが、老人クラブがなくなった地域では、見守り等の負担が民生委員に集中しているのではないかと。
委員	・ 老人クラブの会員数は減少しており、深刻な問題と受け止めている。定年延長等により加入年齢が上がり、70歳を過ぎないと勧誘しても入ってもらえないのが現状である。誕生会やスポーツ大会、作品展などを通じて加入を働きかけている。
委員	・ 民生委員に負担が集中しているということはないと思う。老人クラブがなくなった地域では、代わりに居場所を立ち上げる動きもある。元気な方は働く、ボランティアをするなど、老人クラブ、支え合い活動、居場所、就労、ボランティアのいずれでも、通う場所・役割があることが生きがいや健康につながる。高齢者が魅力を感じて参加したくなるような情報を、市から多く発信していただきたい。
委員	・ 長年、高齢者の通いの場となっていた施設の閉鎖が予定されていると聞いた。居場所づくりを進めるにも場所がなければ作れず、遠いとやめてしまう人も多いため、歩いて気軽に通える場所の確保についても考えていただきたい。また、高齢者は移動手段がないことが一番の問題であり、運転免許返納後の移動も含め、今後はそうした視点が求められる。
委員	・ 生活支援コーディネーターとして地域で活動しているが、専門的な判断が必要な場面もある。CSW(コミュニティソーシャルワーカー)などの専門職をきちんと配置し、地域に入っていくことが必要ではないかと毎年感じている。
委員	・ ほいっぷネットワークの更なる活用促進について、病院・医院によっては使いづらさから独自に他のサービスで連絡を取っていると聞く。どのように活用を促進していくのか。
事務局	・ 今年度の診療報酬改定により、セキュリティの高いツールを用いた情報連携に加算が付くこととなったが、ほいっぷネットワークは対象とならないため、医療機関に利用を促すことは難しい面もあると考えている。介護事業者とつながるための連絡ツールという視点から利用を広げていきたい。